



報道関係各位

三菱地所レジデンス株式会社

三菱地所コミュニティ株式会社

初の戸建住宅街の防災訓練・初の夜間防災訓練を実施

～多様な住まいや場面を想定し、より実効性の高い防災訓練へ～

三菱地所レジデンス株式会社は、多様な住まいや場面を想定し、7月10日に東京都小平市で分譲した「ザ・パークハウス ステージ 武蔵小金井」にて当社初の戸建住宅街の防災訓練を、8月21日には千葉県習志野市で分譲した「ザ・パークハウス 津田沼奏の杜」にて当社初の夜間防災訓練をそれぞれ実施しました。

当社はこれまで、三菱地所グループで分譲し管理するマンションの管理組合や居住者のニーズに合わせて、より実効性の高い防災訓練や防災セミナー活動を実施してきました。共有財産を共に維持管理するマンションと異なり、入居後管理組合を設立しない戸建住宅においては、防災という潜在ニーズはあるものの共同での訓練の実施が難しく、全世帯において防災意識を根付かせることが困難である現状を、活動を通じて改めて認識しました。また、東日本大震災や熊本地震の経験から、帰宅困難によって大人が不在という場面や夜間の災害を想定した訓練の必要性を認識し、今般、より実効性の高い防災訓練を実施しました。

<初の戸建住宅街の防災訓練>

総区画数 79 区画の戸建住宅「ザ・パークハウス ステージ 武蔵小金井」では、三菱地所レジデンスが分譲した戸建住宅街として初めて防災訓練を実施しました。近隣と共同での防災訓練の実施が難しい戸建住宅において、当社で一体開発した街の特性を活かし、売主である当社が防災訓練を企画し、非常時の水源確保訓練やトイレ凝固剤使用訓練を実施。また、街歩きを行いながら、街の防災施設を確認するなど、訓練を通じて、コミュニティ形成を促進し、地域の自治会や小平消防署とも連携することで、エリア全体で互いに助け合う「共助」の体制構築を目指しました。



▲トイレ凝固剤使用訓練

<初の夜間防災訓練>

総戸数 721 戸の大規模マンション「ザ・パークハウス 津田沼奏の杜」では、夜間の災害を想定した防災訓練を実施しました。東日本大震災では広域停電が発生したことから、自宅にある身近なツナ缶を使った簡易的なランプ作り訓練を実施。そして子ども主体の夜間安否確認を実施し、帰宅困難により大人が不在の際も、安否情報を収集できる体制を構築するなど、さらなる防災力強化を目指しました。



▲ツナ缶ランプ訓練

三菱地所レジデンスでは、有志の社員約 95 名によるボランティア組織「三菱地所グループの防災倶楽部」が協力して、2014 年 10 月からの 2 年間に約 40 物件、三菱地所グループが管理する分譲マンションを中心に防災訓練等を実施しました。今後も多様な住まいや場面を想定し、災害に対し「自ら備える」土壌づくりと互いに助け合う「共助」の体制構築を目指し、活動を行っていきます。

■戸建住宅街の防災訓練実施内容

- ・日 時：2016年7月10日（日）10:00～12:00
- ・開催場所：「ザ・パークハウス ステージ 武蔵小金井」
- ・主 催：三菱地所レジデンス
- ・参加者：「ザ・パークハウス ステージ 武蔵小金井」居住者9世帯27名
- ・訓練内容：トイレ凝固剤使用訓練、小平消防署員指導による応急手当訓練、非常時の水源確保訓練、街を歩き防災施設の確認、地域自治会との交流による地域の連携強化



▲街を歩き防災施設の確認



▲普段気づかない「震災用井戸」の発見



▲近隣にて非常時の水源確保訓練

＜参加者の声＞

「震災用井戸の場所を知ることができて良かった。」

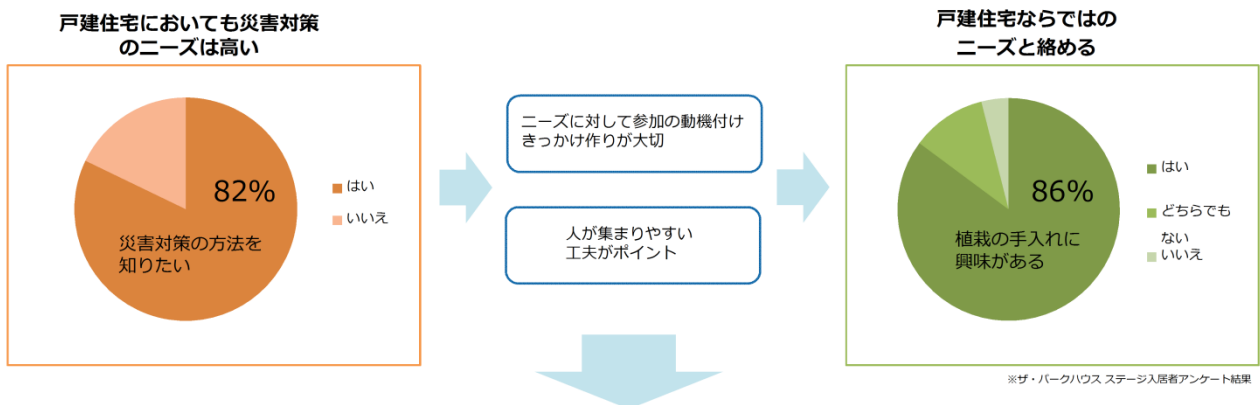
「災害時のトイレの重要性がわかった。また、簡易トイレの使用方法を知ることができて良かった。」

「応急手当など実践的でとても参考になった。」

「今まで交流のきっかけがなかったので、訓練でお互いの顔が分かり、話すことができ良かった。」

＜戸建住宅街の防災訓練を充実させる工夫＞

共有財産を共に維持管理するマンションと異なり、戸建住宅は入居後全てが個々の管理となるため、近隣と共同での防災訓練の実施が難しいのが現状です。売主である当社は、一体開発した街の特性を活かして、防災訓練を実施。また、ニーズはあるものの防災訓練だけでは参加者が集まりにくいいため、訓練参加の動機付けやより人が集まりやすい工夫として、興味関心が高い植栽の維持管理とかけあわせ、植栽管理講習と防災訓練を同日実施。戸建の特性・ニーズに即したサポートを実施することで、多くの居住者の参加を促しました。



植栽管理と防災をかけあわせることで、多くの人の参加を促す



▲小平消防署員指導による応急手当訓練



▲植栽管理講習

■マンションの夜間防災訓練

- ・日 時：2016年8月21日（日）18:00～20:00
- ・開催場所：「ザ・パークハウス 津田沼奏の杜」
- ・主 催：「ザ・パークハウス 津田沼奏の杜」管理組合
- ・協 力：三菱地所コミュニティ、三菱地所レジデンス
- ・参加者：「ザ・パークハウス 津田沼奏の杜」居住者113名（大人：53名、子供：60名）
- ・訓練内容：子ども主体による夜間安否確認訓練、館内放送体験、無線機等の防災備品使用体験、夜間災害時に役立つツナ缶ランプ作り訓練



▲初の夜間防災訓練を開催



▲ツナ缶ランプ作り訓練



▲ツナ缶ランプに火を灯す



▲無線機を利用して安否確認報告



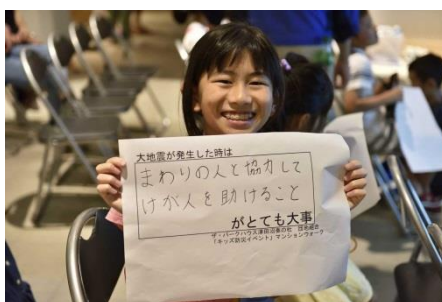
▲館内放送体験



▲チームでマンションの施設を確認



▲防災クイズ



▲防災訓練に参加しての“気づき”



▲全体集合写真

<参加者の声>

「安否確認をする時は、周りの人と協力することが大切だと分かった。」

「安否確認シートが家の中のどこにあるか、家族に確認しないといけないことに気づいた。」

「防災倉庫の場所を知ることができた。」

「ツナ缶でランプが作れることを知れてよかった。」

「明かりの役割だけでなく、その後温かいツナを食べることもできるので、備えておきたいと思った。」

■三菱地所レジデンス「防災倶楽部」の取り組み

三菱地所グループでは、1923年に発生した関東大震災以降、約90年にわたり大規模な防災訓練を実施しており、グループ全体で防災・減災に取り組んでいます。2014年にマンション管理組合の防災組織・訓練を進化・深化することを目的に、三菱地所レジデンスの社員有志によるボランティア組織「三菱地所グループの防災倶楽部」を立ち上げ、現在約95名が活動しています。これまでに約40物件の防災訓練・防災学習・イベントに協力し、トイレの備えの重要性の説明、マンホールトイレ組立訓練、ワークショップなどをサポートしました。

本年6月には、熊本地震による被害状況調査を行いました。主な調査内容としては、熊本市内の鉄筋コンクリート造の集合住宅の被害状況、マンションにおける地震後の対応に関する熊本県マンション管理組合連合会へのヒアリング、益城町の戸建住宅の被害状況、更には同町内の避難所において被災生活に関するヒアリングをしました。

「防災倶楽部」では、本年9月～10月においても全国7物件（約3,600戸）で実施する防災訓練の協力を予定しています。熊本で実際に「目にしたこと」や「聞いたこと」を、訓練の協力や勉強会の開催といった活動を通して、「ザ・パークハウス」の居住者に紹介し、さらなる防災力強化を目指していきます。



▲マンション管理組合連合会ヒアリング（熊本市内）



▲戸建被害状況の調査（益城町）

参考：ザ・パークハウスの防災プログラム HP <http://www.mecsumai.com/bousai/>

■「ザ・パークハウス ステージ 武蔵小金井」物件概要

所在地：東京都小平市御幸町131-121他（地番）
総区画数：79区画
竣工：2015年9月～2016年4月



▲「ザ・パークハウス ステージ 武蔵小金井」外観

■「ザ・パークハウス 津田沼奏の杜」物件概要

所在地：千葉県習志野市奏の杜2-3-1他
総戸数：721戸
竣工：2013年6月



▲「ザ・パークハウス 津田沼奏の杜」外観